



製造業を取り巻く環境変化と課題

1. 人材確保難にどう立ち向かうか

昨今の製造業や付帯する物流業の最大の経営課題として、人手・人材不足が挙げられる。高い有効求人倍率が示すように、増産したくても人手確保がままならない、イノベーションを図りたくても類いまれなマネジメント力を備えた人材が不足し、育てられずに改革を進めるチャンスを逃し、成長路線に舵を切れない企業もある。

2. 企業の目的

企業は次の2つの目的を持った組織集団である。

- ・次なる成長のための利益確保
- ・製品・サービスの継続、存続

これらの目的を達成するために企業として重要なことは、顧客が満足する製品・サービスを提供し、従業員も働きがいをを持って仕事に取り組み、社会から認められる仕事をしながら、株主に適正な配当を行っていくことである。これらを実現す

るための最大の課題は、「企業は人なり」と言われるように人の考え方や行動が企業の将来を決めていくということである(図1)。

3. 働き方改革を実現するためには

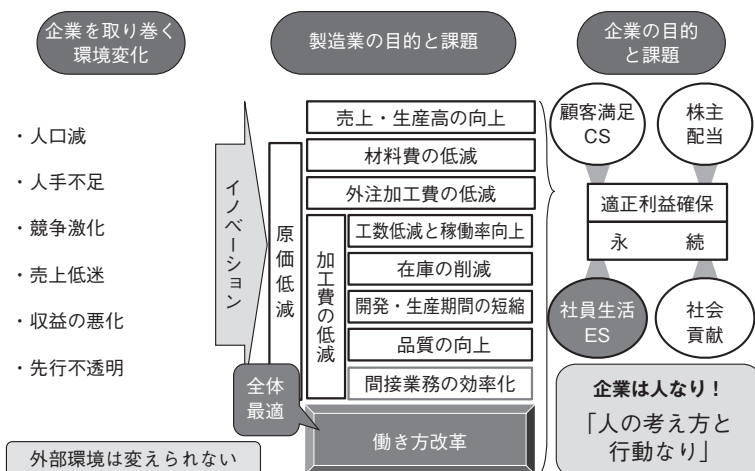
一億総活躍社会実現に向けた会議が2016年9月より開催され、働き方をめぐる議論が盛んである。先般の働き方改革を実現するために具体的なテーマと方向性が示された。

- ・長時間労働の是正
- ・柔軟な働き方
- ・非正規雇用者の処遇改善
- ・女性・若者が活躍しやすい環境整備
- ・高齢者の就業促進

これらのテーマについて、企業の目的を達成しながら、働き方改革に役立つ「間接業務の効率化」を成功裏に実現するためには、「意識改革」と「タイムマネジメント」がカギとなる。

4. 意識を変えて業務効率化に取り組む

図1 企業を取り巻く経営環境と課題



作業・業務の効率を上げて長時間労働を是正するとともに、総労働時間を短縮するためには、直接部門のみならず間接部門も含めた全部門で仕事の進め方をとことん改善する必要がある。

本特集では間接部門の業務の課題とイノベーションの必要性和目的別の進め方および部門別実践事例について紹介する。

(小坂 信之)